

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和3年度)

調査表

施設名	県立芸術劇場(メディキット県民文化センター)
指定管理者	公益財団法人宮崎県立芸術劇場
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)
県所管部課	総合政策部 みやざき文化振興課

1 施設利用状況

指 標	R3	R2	R1	増減理由等
施設利用者数	147,375	112,643	241,888	新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和による利用者数等の増加。
利用率(ホール)	62.1%	44.2%	72.8%	
利用率(練習室)	77.7%	67.3%	84.4%	
コ メ ン ト	新型コロナウイルス感染症の影響により、各指標はいずれも平常時より低い水準にあるが、昨年度と比較すると、行動制限の緩和等もあり、増加傾向にある。今後も、感染症予防対策を実施しつつ、利用者が安心して利用できる環境づくりを継続していく。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R3	R2	R1	支 出	R3	R2	R1
指定管理料	478,734	479,030	479,030	人件費	136,731	120,198	134,133
委託料	54,003	31,287	21,596	事業支出	543,425	424,867	576,851
利用料金収入	48,994	29,578	57,166	県納付金(寄附金)	0	0	1,443
基金取崩収入	0	0	16,550	修繕費	55,047	33,017	34,305
その他事業収入	140,500	75,029	177,226	その他経常支出	2,128	2,178	2,128
合 計(①)	722,231	614,924	751,568	合 計(②)	737,331	580,260	748,860
収支差額(①-②)	-15,100	34,664	2,708				
コ メ ン ト	・委託料は、大規模改修等に伴う委託料である。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和3年度に新たに取り組んだ内容

事 項	実 施 内 容	
維 持 管 理 業 務	清 掃	日常清掃、定期清掃(2回)、特別清掃(ガラス・カーペット)
	保守・点検	舞台機構・照明・音響設備・空調機械、消防用設備
	警 備	常駐警備
	修 繕	県の改修実施計画を踏まえた修繕計画に基づき修繕を実施(令和3年度は舞台照明ほか改修)
	備品等管理	ピアノ等定期点検実施
	安全対策	危機管理マニュアル整備(地震・火災)、安全管理日常点検、避難訓練
	そ の 他	光熱水費削減
企 画 運 営 業 務	サービス提供体制整備	・貸館利用者をサポートするコーディネーターの強化、充実 ・接遇研修等によるサービス向上 ・インターネットを利用したチケット予約システム及び施設予約システムの設置 ・近隣飲食店とタイアップしたグルメマップの作成 ・ホームページのお問い合わせフォームや意見箱からのお客様の声への迅速な対応 ・新型コロナの影響で中止となった公演のオンライン配信
	イベント等ソフト面充実	・自主文化事業の充実(公演内容の充実、県民等への芸術文化活動支援、県内公共ホールとの連携強化) ・宮崎県公立文化施設ポータルサイトの開設 ・友の会会員への広報活動強化 ・テレビ、ラジオ等におけるパブリシティの充実 ・ホームページのリニューアル ・フェイスブック、メールマガジンの活用 ・キャッシュレス決済の導入
	施設設備等ハード面充実	レストランイレ改修ほか
	そ の 他	美術館・図書館・博物館と連携した4館見学ツアーの実施
管理運営体制	29名(県派遣職員1名、正職員28名(令和4年4月1日現在))	
コ メ ン ト	・新型コロナの影響により中止になった事業もあったが、感染予防対策を講じた公演の開催や、オンラインでのワークショップなど、昨年度より多くの事業を実施し、県民の芸術文化活動の拠点として、県民に愛される劇場づくりに努めることができています。 ・インターネット予約システムやキャッシュレス決済を導入するなど、利用者目線でのサービス向上が着実に推進されている。 ・劇場は開館から28年を経過しており、施設の経年劣化が進んでいるため、今後とも計画的かつ効率的な改修に努めたい。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法		
	調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
	<p>・公演の企画内容やスタッフ対応、料金の設定等、いずれも高い評価を得ている。</p> <p>・一方で、約7割が宮崎市内からの来場者であり、比較的年齢層が高いことから、より広範な、幅広い世代の方々に親しんでもらえるような取組を推進する必要がある。</p>	<p>多様な舞台芸術のジャンルやアウトリーチ、幅広い世代の方々が楽しめる公演など、引き続き、県民の多様なライフスタイルに応じた企画の実施に努める。</p>
	<p>駐車場不足のため、特に大規模公演開催時などは来館者からの苦情が多い。</p>	<p>公共交通機関の利用を呼びかけるとともに、美術館や図書館と連携しながら、臨時駐車場の確保や誘導に努めた。</p>

5 総合評価

<p>評価コメント</p>	<p>第四期指定管理期間では「より親しみやすく」「裾野を広げる」を目標に、本県文化のさらなる発展に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の影響により、例年と比較すると利用者数等は依然減少しているが、昨年度と比較すると、行動制限の緩和等もあり、増加傾向にある。公演等の入場率については感染予防対策として入場者数を制限した状況下ではあるが、例年と同程度の水準を維持している。また、キャッシュレス決済の導入など、指定管理者制度導入の目的である利用者サービスの向上について、一定の成果が得られていると考える。</p>
<p>今後の課題と対応</p>	<p>・広報の更なる強化や企画の充実により、県民文化振興事業等の県民への周知を図る。特に若い世代への周知を図るため、SNS等の運用の拡大を図る。</p> <p>・また、利用者のニーズを的確に把握し、万全な感染予防対策を講じながら、更なるサービスの向上や新たな利用者の獲得に努めることで、より多くの、幅広い世代の県民が安心して文化芸術活動を行い、また舞台芸術に触れる機会の増加に努める。</p> <p>・なお、駐車場不足については、引き続き文化公園全体の問題として取り組んでいく。</p>